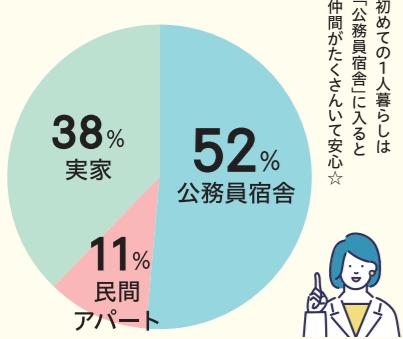
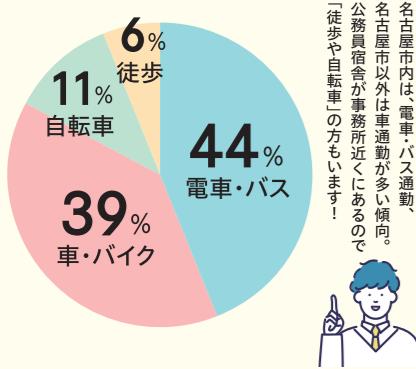


若手職員VOICE

Q.どんなところに住んでる?



Q.主な交通手段は?



公式SNSの更新や現場見学会対応を通して、一般・地元の方から期待の声を聞いたとき

自分の知識が着実に増えている、業務の一員になれていると感じたとき

開通式の際に道路の重要性や地域からの期待などを実感し、そのような事業に携わること

携わる工事の規模がやはり大きく、自分が担当している工事の現場を見学した時は感動したこと

トンネルが貫通する瞬間に立ち会えたこと。地図に残る仕事に携わっていること

1年目から重要な仕事を任せてもらえたり、現場に赴くことが多いのでたくさん経験ができる

フィールドワークが多く、目で確かめることで事業規模の大きさを実感したとき

やりがいを感じた瞬間

建設現場に行き、インフラが出来ていく様を見て、これに携わることを実感したとき

建設の際に道路事業に関するパネルが商業施設に展示され、新聞の片隅に載ったとき

改めて中部地方整備局を選んでよかったこと

地方公務員と比べ部署が多くないため、自分の好きなジャンルでキャリア形成しやすいこと

徐々に自分で考えて行動したり、自分の考えを持って仕事ができるようになったとき

上司に任せてもらえる仕事が増え、自己成長を感じたとき

自身の準備した道路事業に関する参考書や過去問を10年分やりました。各年、できなかったところをメモして、1週間後に解きなおしをしていた

ホワイトボード(100均)に一日の目標を書きだししてモチベーション維持していた

多くの過去問を解くことで試験問題の傾向をつかむことや、勉強をやりたくないときは勉強をしないなど、メリハリをしっかりつけること

苦手科目で平均点を取れるように難しい問題を捨てる。自分で選択することが大切!

業務の中でこのほうが効率よくできると思ったときに提案でき、実践させてもらえたこと

入省後も、業務を通して自分で調べたり、勉強することが想像以上に多いこと

仕事に対してみなさん前向きな考え方を持った人が多い

国家公務員試験用の参考書や過去問を10年分やりました。各年、できなかったところをメモして、1週間後に解きなおしをしていた

国家公務員試験勉強アドバイス

わからないことをすぐに人に聞ける環境を作ることが一番大事! 公務員志望の友達や、公務員に詳しい先生を捕まえておく

現場に出ることよりも受注者との打ち合わせ等が多い

入省後に感じたギャップ

入局1年目から業務委託の方に依頼をするマネジメントに近い仕事をすること

休暇の取り方や働き方(テレワーク・フレックス)に自由度が高い。服装も自由度が高い!

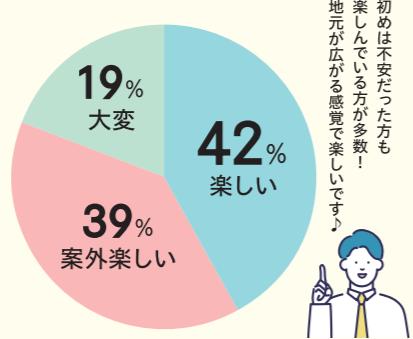
勉強するときはスマホで自分の動画を振り、vlog撮影している気分で勉強していました。(笑)すぐスマホを触ってしまう人におすすめです

筆記試験も重要なが、それ以上に面接試験が大切! 自分の言葉で自分の想いをどう伝えか、突発的な質問に対して答える力も求められます(学生時代の出来事を文書化)することを心がけました

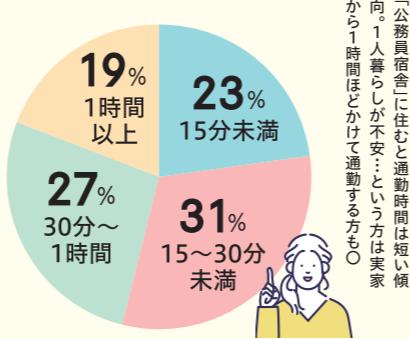
若手職員アンケート

\ 1人暮らしの方に聞きました! /

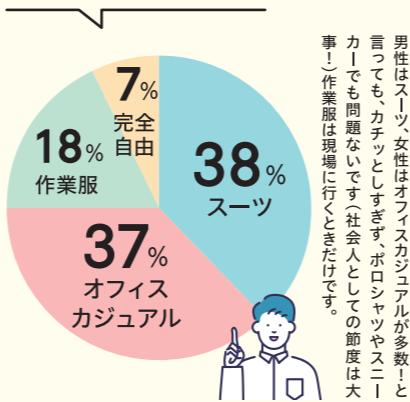
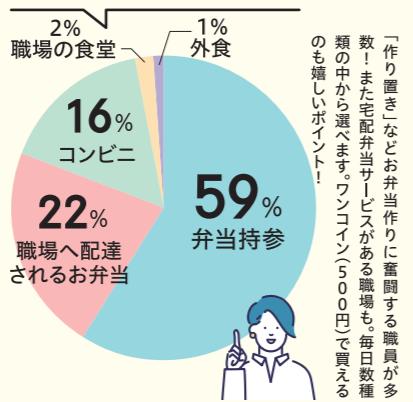
Q.地元を離れてみてどう?



Q.通勤時間はどのくらい?



Q.ランチはどうしてる?



若手職員の生の声、Instagramで発信しています

#入省のきっかけ



説明会で耳にした「地図に残る仕事」というフレーズが強く印象に残ったことがきっかけ。また、「社会の当たり前を支える仕事」であるという点に魅力を感じました。



学校で身についた防災に関する知識を活かして、中部地方を災害に強いまちにする取り組みに携わりたいと思ったからです。また大規模災害が起きた時に、TEC-FORCEとして被災した地域を助けたいと思ったからです。



規模の大きな業務に関わることができる点、日本の輸入・輸出を支える重要施設である港湾の開発、維持管理を通して国に貢献できる点を魅力に感じ、入省したいと思いました。

#1年目の仕事内容



所属の用地第一課では、事業を行うための土地を取得することを業務として行っています。私は現在、事業予定地がどのような土地で誰が所有しているのかといったことを調べる権利調査を主に担当しています。



国道25号名阪国道において、交通事故等の課題に対処するために、インターチェンジの改良工事に関する事業に取り組んでいます。その中で、工事発注に関する資料作成、議事録作成、打ち合わせの日程調整を行っています。



船に乗って工事の現場に行き、安全確認を行っています。工事を進める中で変更点などがあったときに、受注者の方や関係部署と打ち合わせを行い、工事を円滑に進められるよう奮闘しています。

#休みの日の過ごし方



プロ野球の試合をよく見ています。今年からは声出しも解禁され、球場本来の雰囲気を楽しむことができています。職場からドームが近いので、仕事終わりに同期と行くこともあります。



家で音楽を聴いたり、テレビやアマゾンプライムを見たりとのんびりしていることが多いです。車の運転練習も兼ねて、市内のお店の散策もしています。(少しづつ運動出来る範囲も広がってきました)(笑)



学生時代にやっていたテニス、職場の方に誘われ再開しました。他の事務所の方、幅広い世代の方と交流を深めることができます。

#がんばるみなさんへメッセージ



就活のとき、常に向上心を持っていなきゃ、という気持ちに押しつぶされそうになったことがあります。気分が乗らない日は就活と全然関係ないことをしてもOK。自分の機嫌は自分で取れるようにするところから先の人生にも役立つはず!



試験勉強は大変ですが、「国土交通省」の名の下で仕事ができるため、とても誇れる仕事だと思います。入省に向けて頑張ってください!



今は大変な時期だと思いますが、乗り越えれば明るい未来が訪れます!(私もそうでした)諦めずに頑張ってください!